

委員会視察成果報告書

令和5年10月10日

犬山市議会議長

議員名 光清 毅

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

| | |
|------------------------|---|
| (1) 視察年月日 | 令和5年10月2日(月) ~ 令和5年10月3日(火) (1泊2日) |
| (2) 視察地 | 岡山県総社市・兵庫県豊岡市 |
| (3) 視察の種類 | ① 常任・特別委員会 (総務委員会) |
| (4) 視察成果 (視察地ごとに記入) | 別紙のとおり |
| (5) 犬山市に 対する提言 | <p>1. 外国人市民が積極的に防災活動に参画できるように、市役所内の連携強化と支援体制の確立を促したい。</p> <p>2. 犬山市の文化共生推進プランをできるだけ早く策定することと求めたい。</p> |



視察成果 1

○岡山県総社市（面積：211.90km² 人口：69,428 人内外国人 1,557 人 2.24%）

1. 多文化共生事業の推進体制

- ・市民生活部 人権・まちづくり課 国際・交流推進係が担当。
庁内連携とNPO・各種機関・団体との連携により業務を推進している。
- ・外国人集住都市会議に加入し、各会員都市と情報交換や研究を行っている。

※全国 11 都市が加入、愛知県では 3 都市（豊橋市、豊田市、小牧市）

2. 主な施策

(1) 外国人相談事業

- ・通訳 1 名を職員として採用し、外国人窓口を担当、他 2 名の会計年度職員とともに多くの相談に対応している。
- ・外国語広報誌（ポルトガル語、中国語、ベトナム語）を作成し、配布している。

(2) コミュニティ交流事業

- ・外国人のコミュニティ団体と日本人のコミュニティ団体の協働企画により、年に 1 度、交流イベントを開催している。

(3) 日本語教育事業

- ・地域参加型生活サポート日本語教育事業・・・外国人住民が日本人住民との交流を通して、日本語の習得とコミュニケーション能力の向上を図りながら地域社会の一員として積極的に参加できるようになることを目指す。
- ・具体的な事業としては、①日本語教室の設置運営 ②日本語教育を行う人材の育成・研修 ③日本語教育のための学習教材の作成 ④地域の各種団体・機関等との連携・協力による日本語教育の推進 を実施している。
- ・また、外国人市民を支援にあたる市職員を対象にした職員研修を毎年実施。

(4) 就労支援事業

- ・国の出先機関との一体的な支援業務に基づき、ハローワーク総社に就労支援ルームを設置し、福祉から就労支援事業を実施している。

(5) 医療・防災支援事業

- ・ AMD Aグループと連携協力に関する協定を平成21年6月に締結。同団体の協力により「総社市多言語医療ガイド」を作成し、市内在住外国人世帯・市内医療機関に配布している。

【外国人防災リーダー養成研修】（今回の視察事項）

- ・ 日本で発生する災害を見てきた外国人コミュニティのメンバーが「支援する側になりたい」「災害時に役に立ちたい」と考えはじめたのがきっかけで、平成25年から外国人防災リーダー養成研修を市が実施している。
- ・ 令和4年12月現在で、リーダー認定者数は8カ国、43名となっている。
- ・ リーダー養成研修では、①普通救急講習 ②防災研修「総社市の過去の災害状況と防災対策について」 ③ワークショップ「多言語での『防災マニュアルや外国人防カード作成』」を実施。
- ・ 外国人防災リーダーは、水防訓練（土のう作り訓練）、防災訓練（教える側として参加）、他地区の研修に参加している。また、平成30年7月の豪雨災害においては、被災地の支援活動（支援物資の手助け、外国人住民相談の対応等）にあたっている。
- ・ 外国人防災リーダーの役割としては、①防災情報の提供（台風情報等をSNSを利用して8か国語で発信）、②避難所の運営協力 ③外国人避難者の心のケア ④外国人避難者への正しい情報伝達・ニーズの把握 等がある。

→ 外国人住民が地域社会の一員として積極的に参加できる多文化共生社会のまちづくりを進めるためには、防災活動を通しては理解しやすく、効果的であることを認識することができた。

視察成果2

○兵庫県豊岡市（面積：697.55km² 人口：77,446人内外国人835人 1.05%）

1. NPO法人にほんご豊岡あいうえお

豊岡市及び但馬地域で暮らす外国人に対して、生活支援に関する事業を行っている。

【活動内容】

(1) 日本語能力向上事業

- ・日本語教室の実施 学習者数：101名 出身国14カ国 クラス数：823回

(2) 子どもの健全育成事業

- ・多文化共生サポーターの調整
- ・「先輩の話を聞こう」

(3) 地域コミュニケーションの推進事業

- ・あいうえお茶会の開催
- ・あいうえおの活動発表、広報

(4) 支援者の育成事業

- ・日本語学習支援ボランティア勉強会
- ・各種セミナーの開催

(5) 生活相談事業

- ・生活相談受付及び対応：257件

→ NPO法人にほんご豊岡あいうえおにおいて多文化共生のまちづくりを進める担当者から現状と課題を聞くことができ、現場の活動をより理解することができた。
また、実際の日本語教室を視察して、外国人受講生から率直な意見を聞くことができ、参考となった。

2. 豊岡市多文化共生推進プラン 2021-2025

(1) 策定経緯

- ・ 2019年度から神戸大学との共同研究・「外国住民に関する調査研究」を踏まえて、外国人市民の現状と抱える課題について整理し、プランの策定に繋げた。

(2) めざす姿

長期目標 多様な人々が地域や職場の一員として活躍している

戦略目的 暮らしやすいと感じている外国人市民が増えている

(3) 取組み方針

①外国人市民が円滑にコミュニケーションをとっている

【コミュニケーション支援】

②外国人市民が安全・安心に暮らしている

【生活支援】

③外国人市民が地域活動に参画している

【意識啓発と地域づくり】

(4) プランの推進に向けて

- ・ 関係機関等との連携・協働
- ・ 市役所内での横断的な取組み

→ 豊岡市においては、多文化共生推進プランを「政策調整部政策調整課」が策定し、現在のプランの推進を「くらし創造部地域づくり課」が担当している。
プランの策定により、指標や目標値、具体的な手段とそれに伴う主な事業や推進主体が決められ、今後の進め方が明確になっていることが理解できた。